

9月12日 「物は試し」は肝試し？



今日は10時から12時くらいまで怒田ムービーの編集をした。そろそろ大詰めだ。昼メシ学内で食べ、14時から15時くらいまで本屋さんでタイ・日、日・タイ辞書をさがした。さまざまな辞書が有り、どれが良いのかかなり迷った。その後寮に帰って泥睡し、4時30分にムービーの編集をするつもりが6時くらいまでみんな寝ていた。

そして、これからご飯に行こうというときに浅山・井上が内鍵をするというハプニングが起こった。警備員の人に鍵を開けるようお願いすると、マスターキーはハウスキーピングの人が持っているから、明日の9時ごろまで無理だという。困った。ひとまず寝る部屋を新たに用意され、途方に暮れていた。だが僕は思った。窓が開いているかも。以前に窓を開けようとしたときに窓は内側からは開かなかったと井上・浅山は言うが、ものは試しだ。ということで寮の裏に回り窓のガラスに手を当てスライドを試みる。スライドした。違う部屋ではないかと確認してみたが、井上・浅山の部屋で当たっていた。スリッパを脱いで窓を乗り越えて部屋に入るとドアをガチャガチャする音がする。驚かそうと思って内側からドアをたたいてやると、しんとしてしまった。「はいはい」とドアを開けると井上が固まっていた。本人いわく、部屋を間違えていて怒られたか幽霊か何かと思って恐怖していたらしい(笑)。

内鍵事件も解決して夕飯はピザ屋でピザを食べ、セブンイレブンに寄って帰り、風呂に入ってから怒田ムービー会議をして寝た。会議を終えて部屋で見ていたアニメのタイアフ

レコのぎこちなさやオノマトペの違い、驚いた時の声の違いを面白がって見ていた。タイで日本語や「日本文化」が学ばれていることに疑問を持っていたが、アニメや漫画の翻訳にも日本語力や「日本文化」への理解が必要とされることを考えると、日本に関する知識は彼らにとって実践的に意味が有ることなのだなあと思った。